

# Indies Brand

## 作品 ハンドルバーウェイト インナータイプ

外径φ22.5の汎用ハンドルバーの内部にウェイトを装着できます。

スチールハンドルバー用  
対象内径は、約φ16.5～φ19.0  
・Oリングを外した寸法 約φ16 x 100mm (1本あたり約150g)

アルミハンドルバー用  
対象内径は、約φ14.5～16.5  
・Oリングを外した寸法 約φ13 x 145mm (1本あたり約150g)

写真付き説明内の注意事項は必ず守って下さい。

スチールハンドルバー用、アルミハンドルバー用、アルミハンドルバー用分割タイプ  
取り付け方法は全て同じです。

### KIT 内容

ウェイト(左右兼用)	2本
耐油Oリング	4個
脱着用ロングボルト	1本
隙間調整シート	2枚



画像はスチールハンドルバー用です。

## 取付方法



### <準備>

ネジを切った方にボルトをねじ込む。  
(後で外すので固く締め込まないように！)

ウェイトのネジ穴には防錆の為、グリスが塗布してありますので拭き取らずそのままご使用ください。



内径に余裕が有る場合は厚さ調整シートを使用します。

**注意：押し込む時に少し固いくらいに調整して下さい。**

←φ19前後の場合は、1枚そのまま使用します。  
リング部分にビニールテープを多く巻けばφ19以上にも使用できます。



←内径によりシート幅をカットし調整します。

シートを貼る時はリングに傷が付かないようにビニールテープで保護も兼ねて下さい。



**注意：パー内部に異物が無いか確認してから挿入して下さい。**

**石鹼水を塗布して押し込みます。**

押し込む力が少し強く押し込めるくらいが最適です。



パーエンドキャップを装着するスペースを確保し、脱着用ボルトを抜き取ります。

## 取付けアイデア(冬編)

冬、グリップヒーターを付けている場合  
次の様に装着すると、保温持続性が高まり  
どこかへ立ち寄った時エンジンを切ってもすぐには冷めなくなります。  
(スチール部分をバーに密着させます。)

グリップヒーターを装着されていない場合、この付け方は逆効果になります。



### <準備>

両側のリングを外します。

調節シートを幅広い物と狭い物に切出し、重ねます。

・広い方の幅は、ウェイトを入れた時ハンドルとウェイトが接触するようにしておく。

・狭い物が外になるように重ねる。

### <装着>

初めは、入らないのが正解です。

少しずつ切って入れてゆきます。

まず狭いシートを少し切って入れてみます。

入らなければさらに少し・・・繰り返し、幅5mm位になったら、広いシートを同じように切ってゆきます。

力を入れて少し入るくらいが丁度よいです。

あとは、石鹼水を使い温めたりしながら押し込んで下さい。

ハンマーなどで無理やり叩き込むと、歪が出てアクセルが回りにくくなりますので絶対にしないで下さい。